

# 衆議院海賊行為への対処並びに国際テロリズムの防止及び 我が国の協力支援活動等に関する特別委員会ニュース

平成 21.4.21 第 171 回国会第 5 号

4 月 21 日（火）第 5 回の委員会が開かれました。

## 1 海賊行為の処罰及び海賊行為への対処に関する法律案（内閣提出第 61 号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）社団法人日本船主協会会長 前 川 弘 幸君  
社団法人日本船長協会会長 森 本 靖 之君  
全日本海員組合組合長 藤 澤 洋 二君  
早稲田大学法学学術院教授 水 島 朝 穂君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 越 智 隆 雄君（自民）

- ・海賊の脅威にさらされながらソマリア沖を航行するという実態及び自衛艦によるエスコート開始（3 月 30 日）以降の状況の変化について、前川参考人、森本参考人及び藤澤参考人のそれぞれの立場からの所見を伺いたい。
- ・本法律案があらゆる船舶を護衛対象としていることが世界の海運関係者からどのように受け止められているのか、前川参考人、森本参考人及び藤澤参考人の所見を伺いたい。

### 佐 藤 茂 樹君（公明）

- ・自衛隊は海上警備行動を開始して以降、護衛対象以外の船舶から 3 度に亘り救助を求められたが、護衛対象を拡大する本法律案は必要であるか、森本参考人の見解を伺いたい。
- ・欧州連合（EU）は保護対象船舶の優先に関し世界食糧計画（WFP）を第一とし、その他は同列としているが、我が国は優先順位を設けるべきか、森本参考人及び前川参考人の所見を伺いたい。

### 長 島 昭 久君（民主）

- ・従来から平和主義を標榜している全日本海員組合が、ソマリア沖・アデン湾への海上自衛隊艦船の派遣を政府に要望するようになった経緯・理由について、組合長である藤澤参考人に伺いたい。
- ・本法律案で認められた海賊船への船体射撃について、水島参考人が、海上保安庁が行う場合はぎりぎり合憲だが、海上自衛隊が行う場合は違憲とする理由を伺いたい。

### 赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・ソマリア沖・アデン湾について、どこどこを結び、どのような船舶が多く航行しているのか、またアデン湾を回避し迂回ルートをとった場合にどのような違いが生じるのか、実際に喜望峰回りにルートを変更した船舶がどの程度あるか、前川参考人に伺いたい。
- ・国連安保理決議第 1851 号ではソマリアに対する空爆も可能と解されるが、このような決議が採択されるに至った経緯及び海賊対処は警察活動とする政府説明と国連安保理決議との関係について、水島参考人の考えを伺いたい。

### 辻 元 清 美君（社民）

- ・米国が海賊を射殺したことなどにより、暴力の連鎖によりアデン湾がさらに危険な海域となることが懸念されるが、水島参考人の見解を伺いたい。
- ・民間と海上保安庁が協力して行ったマラッカ海峡における海賊対策の成果を、オマーン、ジブチ及びイエメンなどソマリア周辺国に対しても活かせるのではないかと考えるが、海運関係の 3 参考人の見解を伺いたい。

### 下 地 幹 郎君（国民）

- ・本法律案は海賊には海上保安庁が第一義的に対処するという一般法となっているが、ソマリア沖・アデン湾に海上自衛隊を派遣するための特別措置法とすべきであるか、全参考人の見解を伺いたい。
- ・本法律案で海上保安庁と海上自衛隊が合同で海賊に対処すること、あるいは先ず海上保安庁を派遣し、対応が困難な場合にはその後海上自衛隊を派遣することができるか、水島参考人に伺いたい。